



日本共産党  
北茨城市委員会  
鶴岡町登田1000-2

毎週日曜日発行

インターネットでも  
ご覧いただけます

http://www.jcp-tts.com/

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木 康子  
42-2462

# 原水爆禁止2007 世界大会に参加して

長崎からの  
手記

原水爆禁止世界大会が今年は長崎を主会場にして開かれました。これに参加した平潟町の藤田稜威雄さんから寄せていただいた手記を紹介します。

昨年、長崎大会へ参加しました。原子爆弾投下から62年の歳月が流れ、原子爆弾の恐怖はどこかへいつてしまったのか？との危機感を抱いての参加でした。

被爆者の高齢化がすすむなか、核兵器の恐ろしさ、理不尽さを訴えるパワーの衰えを不安視していました



たくさんの若者と国内外の代表が手をつないだフィナーレ

「民主主義国家・アメリカ。アメリカに従ってさえいけば経済的にも軍事的にも安心」と大多数の人が思わされていいるのではないのでしょうか。自分もその一人でした。しかしブッシュ大統領の覇権主義とは、アメリカの権益が損われるおそれがあるときは核兵器を通常兵器と同じ扱いで

が、大きな長崎市体育館は超満員。青年男女の熱気があふれかえり、頼もしさを実感しました。分科会では「非核日本宣言と日本の未来」のパネルディスカッションに参加。あらためてアメリカの正義とは何かを考え直すことができました。

使用する。テロリスト、テロ支援国家に対しては先制攻撃が効果あり。先制攻撃は国連憲章で違反とされているが、国連・話し合いなどまったく無視。たとえば北朝鮮が、アメリカの先制攻撃に対して反撃のミサイルを発射したら日本がそのミサイルを迎撃することになり、この時には日本も標的になる。「核の傘」の実態でもあります。

日本は「非核三原則は日本の国是」と宣言しています。安倍首相も長崎で「三原則を守る」と発言しています。その首相が、海外で自衛隊がいつでも活動（戦争）できるように憲法を直すようにすると公言しているのです。また「原爆は落とされてもしょうがなかった」と長崎出身の防衛大臣が発言。さらに中川政調会長や麻生外務大臣らは、核武装論議を日本もしてもいいのでは、とまで述べています。非核三原則の中身について横浜駅頭で80人に聞いたら、造らない 持たない

持ちこませないを正確に答えられた人は、たったの3人だったそうです。では、8・6（ヒロシマ）、8・9（ナガサキ）を正確に答えられる人はどれほどになるのか。数年前までは自分自身も似たようなものだったとふりかえっています。

平和を思い、原爆を憎むことに右も左もないはず。一人でも多くの人たちに理解してもらえよう、これからも努力をしていきたいと思えます。なお、今回の参加にさいしても、たくさんの方からカンパをいただきました。ありがとうございました。

市議会  
一般質問

## 9月議会から一問一答に

かねてお知らせしてきたとおり、市議会第三回定例会から一般質問に一問一答方式が取り入れられます。9月4日が開会初日で、一般質問は11、12日の2日間が予定されています。これまでの一括方式と違い、質問に対して即座に答えが出るので議員・執行部はもちろん傍聴者にも内容がわかりやすくなると期待されています。一方で、的はずれの答えになってもいけ

ないと、事前のすりあわせが過剰にならないか危惧する面もありますが、実施していくなかで改善していく方向が確認されました。これまでの方式との比較は下のとおりです。

|        | 新方式                      | 従来                  |
|--------|--------------------------|---------------------|
| ・質問通告  | 開会日10時まで                 | 開会日入れて3日目の午後5時      |
| ・発言順序  | 初日、本会議終了後に抽選             | 初日8:30までに通告した者で抽選   |
| ・通告内容  | 大中項目を設け、要旨を具体的に記載(従来どおり) |                     |
| ・項目・回数 | 制限なし                     | 項目は制限なし<br>再質問は2回まで |
| ・質問時間  | 1人30分以内。答弁時間を含め1時間以内     | 時間制限なし。             |
| ・発言場所  | 演壇(1回目質問の大中項目のみ)および質問席   | 演壇。再質問2回目は自席で       |
| ・質問者数  | 1日5人でいど(午前2~3人、午後3人)     | 制限なし                |



## 踏切拡幅

永い間の住民の皆さんの願いが、ようやく形になります。南中郷駅の北側、県道22号(里美南中郷停車場線)の小野矢指の踏切の拡幅工事が、いよいよ11月から始まることになり

ました。工事開始に先立ち、踏切付近の樹木の伐採がおこなわれました。日本共産党市議会も再三にわたって県や市に早期着工をはたらきかけてきました。